

Our Mission  
目標

世の女性に美しくなって貰う事によって  
広く社会に寄与する事こそ  
わが社の理想であり目標であります

Our Vision  
社是

わが社は 相互信頼を基調とした  
格調の高い社風を確立し  
一丸となって 世界のワコールを目指し  
不断の前進を続けよう

Our Value  
経営の基本方針

1. 愛される商品を作ります
2. 時代の要求する新製品を開発します
3. 大いなる将来を考え正々堂々と営業します
4. より良きワコールはより良き社員によって造られます
5. 失敗を恐れず成功を自惚れません

コロナ禍を、新時代の飛躍につなげる好機として捉え、  
大胆な自己変革を実行します

～新しい時代の中で、顧客の求める価値創造を実現できる、ワコールへ～

2020年の始まりとともに端を発し、現在、全世界で猛威を振っている新型コロナウイルス感染症は、世界各国で事業を展開する当社グループにおいても甚大な影響を及ぼしています。収束に向けた道筋とその後の世界がどこへ向かうのか、先行きは依然不透明ですが、私たちはこの難局を、新時代で飛躍するための好機に変えなければなりません。

当社には、未曾有の危機に瀕しながらも、全社一丸となってその難局を乗り越えてきた歴史があります。1960年代からアメリカで始まった「ウーマン・リブ」と呼ばれる女性解放運動は、1970年にブラジャーの着用を否定する「ノーブラ運動」として日本にも波及し、当時のワコールに深刻な影を落としました。当時、創業者の塚本幸一は、「全社員が気を引き締めて結束し、まい進しない限り、この非常事態を乗り切ることはできない」との強いメッセージを社員に伝えました。さらに、長かった自身の髪を丸刈りにすることで、社員に危機感を訴えるとともに、ワコールの再出発を誓いました。この緊迫した想いは強い説得力となり、社員の団結力を高めました。そしてこ

の団結が、より自分らしさを求める新時代の女性の心を捉えて大ヒットとなった「シームレスカップブラ」を生み出すなど、その後の成長の大きな原動力となったのです。まさに今、新しい時代が求める価値創造を実現し、本当に社会から必要とされる企業になれるかどうか、「自己変革の正念場」にあると認識しています。従来のビジネスモデルを徹底的に点検するとともに、過去や慣習にとらわれることなく、大胆な変革を実行することで、この難局を必ず乗り切ってみせます。

同時に、コロナ禍がもたらす価値観の急激な変化の先を読み、「愛される商品を作る」「時代の要求する新製品を開発する」という経営理念を実践できる人材の育成と、成長に向けた健全なリスクテイクを果敢にとることができる土壌の醸成に尽力してまいります。

全世界のグループ社員が危機感と未来への想いを一つにし、すべてのステークホルダーの皆さまとの相互信頼の関係を構築することで、今以上に社会から必要とされ信頼される存在に進化してまいりますので、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月

株式会社ワコールホールディングス  
代表取締役会長

塚本幸一



創業者 塚本 幸一(1970年)